



2016～17年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2016～2017)

会 長/大 杉 幹 夫
幹 事/江 口 久 夫
会報委員長/永 木 寛

創 立/昭和38年10月 2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル 四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2480

第2610回 平成29年 2月 1日 (曇り)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 森本琢磨様 (龍馬の生まれた町記念館学芸員)
2月8日(水) のプログラム：ゲストスピーチ キム・ヘミン様 (四万十町国際交流員)
2月15日(水) のプログラム：職場訪問例会 (四国銀行中村支店)

【会長挨拶】大杉会長

- 本日のゲストは「龍馬の生まれた町記念館」学芸員の森本琢磨様です。本日のスピーチよろしくお祈いします。尚、スピーチを聞きに中平市長も来られおります。
- 私の母校、中村高校が40年ぶりに甲子園選抜大会に出場することとなりました。3月19日からの熱戦ですが、1試合でも多く勝ってほしいと思います。応援よろしくお祈いします。

【幹事報告】江口幹事

- 2月のロータリーレート 1ドル=116円
- ガバナー事務所より
 - 1) ガバナー月信 No.2
 - 2) ロータリーの友 2月号 拝受
- 地区ロータリー財団事務所より
2017～18年度のテーマ決定の通知
「ロータリー：変化をもたらす」
- 2016年7月～12月迄に、財団の寄附を頂いた会員へ、確定申告用寄附金領収証と、昨年1年間に米山記念奨学に対し、特別寄附を頂いた会員へ確定申告用寄附金領収証が届いています。

【委員会報告・会員発言】

■稲田職業奉仕委員長

2月15日は、四国銀行中村支店への職場訪問となっています。出欠を回覧していますのでよろしくお祈いします。

■福原会員

中村高等学校、40年ぶりに甲子園出場が決定しました。支援の実行委員会を立ち上げております。何かとご支援いただきますようよろしくお祈いします。

■ゲスト略歴紹介 大杉幹夫会長

森本 琢磨 (もりもと たくま)
高知市立龍馬の生まれたまち記念館学芸員
1981年土佐市生まれ。高知学芸高等学校卒業、奈良大学文学部史学科卒業。土佐山内家宝物資料館、高知県立坂本龍馬記念館の臨時職員を経て、2014年1月より高知市立龍馬の生まれたまち記念館学芸員として勤務。



【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 森本 琢磨様（龍馬の生れた町記念館学芸員）

明治維新 150 年キャンペーンについて

みなさんこんにちは。私は高知市立龍馬の生まれたまち記念館で学芸員をしております。

さて、高知県は今、2018年を「明治維新150年」と位置付けた観光キャンペーンに力を入れ始めております。昨年は薩長同盟から150年、今年は大政奉還から150年、そして来年は明治維新150年です。

歴史を学ぶとは、単に過去を知るではありません。先人たちの功績や失敗を知る事で、それを現在・未来に活かしていくことが、歴史を学ぶ意義の一つであります。

幕末といえば、坂本龍馬ですね。しかし、龍馬一人で語れるほど、幕末の歴史は単純ではありません。現在に通じる新しい世の中を目指して、多くの人々が模索し、葛藤し、努力した時代。それが幕末です。

そして、その時代、四万十市から輩出された人物も多く関わっていたことを皆様、ご存知でしょうか。樋口真吉、藤本惇七、安岡良亮など、その功績や知名度に大小はあれども、彼ら一人一人が維新に貢献しており、語り継いでいくべき存在です。

まずは、樋口真吉から御紹介します。土佐藩の信頼も厚かった人です。文化12（1815）年11月8日、この地に生まれた樋口真吉は、若い頃から剣術に優れ、砲術を学び、高い学識を持つ人物でした。幕末動乱の中、坂本龍馬や中岡慎太郎、西郷隆盛にも会いながら、幕末史の局面を目撃し、それを日記に記録しています。

樋口真吉を知るうえで、最も大切なことは、「幕末の動乱期だけでなく、その胎動期を見た」ところにあります。刀や槍より、大砲や鉄砲の技術が必要と考えた藩は、その対策を進めます。龍馬や武市半

平太より20年ほど早くに生まれた樋口真吉は、鎖国体制が揺らぎつつあった幕末前夜の状勢も目撃し、早くから砲術などを勉強していたんです。

樋口真吉は、身分の低い勤王志士として紹介されていますが、実は土佐藩の上層部との関係も深く、信頼されていました。最終的には、戊辰戦争に参戦し、軍艦のチャーターや武器の輸送などで土佐藩軍の勝利に大きく貢献。幕末の胎動期から終焉までの激動がぎっしりと詰め込まれています。ぜひ、四万十市でもこの偉大な先人をどんどんPRしていきましょう。

藤本惇七は、文政10年、この四万十の地に生まれました。「大政奉還建白書」が幕府に提出されましたが、この建白書の執筆を担当したのが、藤本惇七で樋口真吉の弟子。まさに、四万十の偉人たちがともに歴史を動かしたのであります。

安岡良亮は文政8（1825）年にこの地で生まれ、樋口真吉同様に文武両道の優秀な人物でした。新選組の局長・近藤勇を処刑したエピソードがよく知られています。

土佐勤王党、大政奉還、戊辰戦争と、四万十市には幕末維新时期に活躍した人物が数多くいました。彼ら一人一人が新しい時代を切り開いた立役者であり、功労者であるといえるでしょう。大政奉還150年の今年、明治維新150年の来年を機に、ぜひとも四万十市からこれらの要素を発信し、教育や観光の面でプラスにつなげていければと思います。

歴史とは、単に過去に何々があったというだけではありません。今とつながっていることなのであります。常に現代を出発点として歴史を見ることを今一度確認いたしまして、私からのお話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

大杉会長：森本様、本日のスピーチありがとうございました。

田中会員：幹事より、今年卒寿と知らされて嬉しくもあり、嬉しくもなし。クラブで祝っていただき誠にありがとうございました。

安岡会員：古希祝い、ありがとうございました。本日、森本さん、ご講演勉強になりました。

中平会員：先日は還暦の祝いをして頂き誠にありがとうございました。あれから連日、お祝いをして頂き、飲み疲れで声が出なくなりました。ありがとうございました。

永富会員：還暦のお祝い、ありがとうございました。

大杉(幸)会員：先週の稲田会員のきめ細やかな心配りに感動しました。

杉本会員：仙石さん優勝おめでとう！私は仙石さんにかけていました。お陰で生まれて初めての一人取り、ありがとうございます。ヒヒ〜ン！

福原会員：祝！中村高校選抜大会出場！

稲田会員：母校、中村高校の甲子園出場を祝い！皆様、ご支援よろしく申し上げます。

【出席報告】・会員総数49名（免除会員5名）

・本日の出席/29名 65.91%